

Living the Dream

「夢」の実現に向かって頑張っている方を応援します。

あなたの叶えたい夢や地域の夢などを編集部にお聞かせ下さい。
選考の上、Editionに掲載させて頂きます。ぜひ、あなたの「夢」
を叶えるお手伝いをさせてください!

【応募条件】

あなたが叶えたい「夢」であること。

【夢の例】

- ・プロのダンサーを目指している。
- ・ソムリエを目指している。
- ・ママさんバーボールで優勝したい。
- ・お祭りで地域を元気にしたい。

【応募方法】

株式会社宅配広告社のホームページより、お問い合わせフォームに必要事項を明記の上、「お問合せ内容」欄にあなたの夢、活動などをご記入下さい。
採用された方、または団体にはこちらからご連絡させて頂きます。



Living
the
DREAM

Instagram

edition_freetpaper

素敵な写真が沢山見られます!



TAKE
FREE

ご自由に
お持ち帰
り下さい。

Edition

手のひらの幸せ

エステティシャン

伊藤 静

8



Paume Bonheur

ポム・ボヌール

SALON DE ESTHÉTIQUE

夢 の実現に向かって頑張っている方を応援するプロジェクト
「Living the Dream」企画第2回目のインタビューは、エス
テティシャンの伊藤静さんです。「家事や育児等の終わりのない仕
事に日々追われている女性に対し、心の底から癒される時間を提
供し、日々の暮らしがより豊かになるお手伝いがしたい」。そんな揺
るぎない信念を持って日々お客様と向き合う伊藤さんに、エステに
に対する想い、そしてこれからのお話をお話をうかがいました。

Living the Dream

手のひらの幸せ

伊藤 静

Q、エステティシャンになろうと思ったきっかけを教えてください。

伊藤さん：2010年に地元の栃木県から東京に上京したのですが、その半年後に東日本大震災が起きました。実は両親の生まれは共に宮城県で、両方の祖父母の家が津波で流され、祖父母と母の姉が亡くなってしまいました。両親の中でも母は特に落ち込んでしまい、落胆した両親の姿を見て、「生きてる私に何ができるのだろう」と強く考えさせられました。当時はコールセンターで働いていて、私が話を聞くことで少しでも励みになれば良いなと思い、独学で心理カウンセラーの勉強をして資格を取りました。その後何年か経ったある日、母に「どうして私だけ生かされたんだろう、生きているのが辛い」と言われたんです。「私は自分のことに精一杯でそんな母の気持ちに気付かず、一体何をしていたんだろう」とその時すごく後悔しました。「私に何が出来んんだろう」ともう一度真剣に考えた時、ふと子供の頃転んで、「痛いの痛いの飛んでいけ～」と母に撫でてもらった手の温もりを思い出しました。この先どんなに医療や機械が発達したとしても、人の心や身体の痛みを癒せるものって、手のひらから伝わる温もりによる安心感に勝るものはきっとないなと思ったんです。それで、自分の手で直接触れて人を癒せるような仕事に就きたいと思ったのが、エステティシャンを志したきっかけです。悩んだり疲れている人の心や身体を少しでも癒してあげたい、というそんな想いが今の私の活力になっています。

Q、ご自身もエステで癒された経験はありますか？

伊藤さん：あります。両親のことを励ましながらもすごく疲れてしまった時期があって、気分転換に足を運んだのがエステと私の出会いです。その時のセラピストさんがとても素敵なお方で、丁寧に施術してくださいり、お話をよく聞いてくれて。施術が終わつたあと心と体がふっと軽くなり、表情まで明るくなった自分にびっくりしました。「エステってこんなにすごいんだ！」と本当に感動したんです。

Q、前職と畠違いの世界へ飛び込むことへの不安はなかったですか？

伊藤さん：もちろんありました。今更この年齢で新しい仕事を始めるなんて…ってなかなか踏み出せない自分がいました。そんな時、もう一つきっかけになる出来事がきました。私には8歳下の弟がいるんですが、弟は宮大工になるという夢があり、県外へ修業に出るなどして目標に向かって頑張っていました。その弟が交通事故にあり、背骨を圧縮骨折してしまったんです。一時は、もしもたら下半身不随になるかもしれない、とまで言われました。今は幸いにも回復して日常生活は送れるようになったんですが、重い物が持てなくなり、夢だった宮大工の道を諦めざるを得なくなりました。その時に、「夢があっても諦めざるを得ない人がいるのに、私は何を甘えているんだ。やっぱりやろう！」と一大決心しました。また、やるからには厳しい環境で磨かれたいくらい、大手エステサロンの銀座店に就職しました。自分のお店を持つためにも、1日も早く技術や経験を身につけたかったんです。

Q、店名の由来は？

伊藤さん：フランス語でボムが「手のひら」、ボヌールが「幸せ」を意味していて、「手のひらの幸せ」という意味になります。「手のひら」は私の原点でもあるため、店名には必ず入れたいと思っていた。創業時のサロンの所在地である銀座は、美容やファッションの日本における中心でもあり、私のサロンにご来店頂いた際には、流行に関係なく手のひらの温もりを通した癒しを感じてもらいたい、という想いが込められています。

Q、サロンの特徴はどういうところですか？

伊藤さん：身体の外面・内面だけでなく、ストレスティアという心の面までサポートできるように心がけています。エステで外的に綺麗になることは当たり前ですが、一時的に綺麗になったとしても何か根本に原因があればまた元に戻ってしまうので、それをお客様と一緒に探り、根本からの改善に導くことを私のエステティシャンとしての使命だと思っています。そのため、私のサロンでは画一化したメニューではなく、お客様に合わせ

てカスタマイズしたメニューを提供しています。お客様一人一人のお悩みについて、丁寧なヒアリングを行い、生活習慣の面から一緒に改善していきます。震災後、被災した両親、親戚、先ずは自分の目の前にいる人達に対して、小さな事でも良いから何らかの支えになるようなことをあげたいと考えて心理カウンセラーの勉強をしたこと、今の仕事に活きていると思います。心と身体は密接に繋がっているので、お身体に触れてみるとストレスフルな日常生活を送られている様なケースは何となく伝わるので、お客様の話によく耳を傾けてみると「実はこんな悩みがあるって…」ということも多いんです。

Q、今後の展望について教えてください。

伊藤さん：今は一人でやっているので、ゆくゆくは私と想いを共有できるそんなスタッフを育成したいと思っています。そして、この仕事に就いた時からの目標なんですが、地元にサロンを開こうと考えています。子連れでも気軽に来れて、お母さんたちの憩いの場になるようなお店にしたいですね。エステって非常だと思うんです。その非日常を体感することによって、心や身体をリフレッシュしてもらえたらしいなって。近年自治体の福祉事業で高齢者の方に整体のサービスなどがありますが、それと同じように、例えば子育てに加えて日々の仕事に走り廻っているシングルマザーの方にエステを提供できないだろうかと考えています。自治体で一部補助していただいて、一人で子育てを頑張っているお母さんたちにご自身へのご褒美の時間をあげられたらいいなと。お金の面だけでなく、プライスレスな心の豊かさって大切だと思います。実はもうイメージはできています。(笑)、

栃木県は蔵の街なので、古い蔵をリノベーションして、昼間はお母さんたちが子連れで憩えるサロン、夜は疲れたお父さんたちも立ち寄れる飲食物

も提供できる空間にしたら面白いんじゃないかなって。そんな風にして、自分が生まれた土地に貢献していくならいいなと思っています。私のサロンはまだまだ小さなお店ですが、美の探求を通じて幸運の波動がやさしく拡がって、明るく元気で豊かな社会造りに少しでも貢献できたらうれしいです。

プロフィール

いとう しづか
エステティシャン
Pauine Bonheur（ボム・ボヌール）オーナー
1986年生まれ。栃木県出身。2011年の東日本大震災で親族が被災する中、何もできない自分に歯がゆさを感じているときにエステと出会う。「落ち込んでいる人たちをこんな風に幸せな気分にできるのではないか」との想いから、エステティシャンになることを決意。大手エステサロンに入社し、「全国約100店舗の中での一番の営業成績を取る」という目標を、わずか10ヶ月で達成。これを契機に2016年6月に株式会社ラフを設立し、2016年8月に東京銀座にて完全予約制のエステサロン「Pauine Bonheur（ボム・ボヌール）」をオープン。2019年5月より現在の東京新富町に移転し現在に至る。お客様それぞれの「自分史上最高の綺麗」の実現をサロンコンセプトに掲げている。



EDITOR'S NOTE

大切な人にだけこっそりと教えてくなるような隠れ家的なサロンです。「人を癒し笑顔にすること」だけを想い、並大抵ではない努力をしてきたのが言葉の端々から読み取れます。ちなみに伊藤さん、前職のエステサロンでは売上 No.1 という達成（妻手のひら！）の持ち主だったりします。内に秘めた想いが手のひらを通して伝わっている証ではないでしょうか。

STAFF

Editor and Writer 鈴木ハルカ

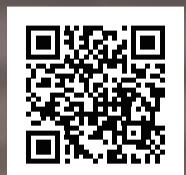
Photographers H.SUGI
中村一月
石村優太

Model 力丸莉帆

Paume Bonheur
ボーム・ボヌール
SALON DE ESTHÉTIQUE

住所 〒104-0045 東京都中央区新富1-7-6
Dobroビル3F
営業時間 平日／12:00～21:00
土・日・祝／10:00～19:00
定休日 月曜日

ご予約・お問い合わせ
☎ 090-5554-7399



Edition NO.8

12月号 Living the Dream 手のひらの幸せ 伊藤静 2019年12月発行 発行人／佐藤大輔 発行／株式会社宅配広告社 〒164-0013 東京都中央区新富町4-25-4 南中野天井マンション1階 TEL.03-5328-1700 FAX.03-5328-1715 Contact / edition@rakuhai.co.jp ※無断転写、複製、複写の一切を禁ずる

TAKUHAI AD CO.

Edition

ポストに投函するフリーペーパーです。

広告主募集

03-5328-1700



宅配広告社
TAKUHAI AD CO.